



ロハスビジネス

大和田順子、水津陽子著
(朝日新書、本体720円+税)

小誌連載中の「サステナブル都市への胎動」は、持続可能な地域のあり方を様々な角度から考えている。本書のタイトルにある「ロハス」(LOHAS)は、「健康で持続可能(サステナブル)な生活様式」の略語。1990年代後半に米コロラド州ボルダーで生まれた新しい生活哲学が、時代の流れに乗って瞬く間に世界に広がった。

本書は、地域おこしにロハスの視点を付け加えようと提案する。「地産地消」「地域資源の活

用」「グリーンツーリズム」「地域ブランド」など、最近注目を集めている地域活性化のキーワ

ードにはロハスなものが多い。長野県小布施町、東京都八王子市、岩手県葛巻町など7つの町を取り上げて、持続可能なまちづくりの秘密に迫った。

石見銀山の世界遺産登録で活気づいた島根県大田市では、衣料雑貨ブランド店の「群言堂」が入店制限を始めた。田舎暮らしの雰囲気由来店者に味わってもらうためだ。商う側には、細く長く顧客を大切にするという節制が求められる。(若)

